

第1回海の環境学習会



水中ビデオ映像を上映し、普段は目にすることのできない海の中の様子を見てもらいながら、アマモの特徴や役割などを解説しました。また、西柴小学校の卒業生「元祖アマモ隊」のみなさんが手作りのアマモクイズを出題してくれました。さいごは、樹脂粘土を使って再生会議のマスコットキャラクター「アマモン」をみんなに作ってもらいました。親子で楽しみながら粘土細工をする姿がとても印象的でした。

第2回海の環境学習会



西柴小学校の飯田先生が作詞作曲してくださった「アマモンサンバ」をみんなで合唱したあと、チュニジアの子どもたちとインターネット交流を行いました。チュニジアでアマモの移植活動をしている森田さん(再生会議)、現地の子どもたちと、現地の通訳を介して暮らしている場所の自然や文化などを発表しあったり、海の様子を質問しあったりしました。チュニジアの通信インフラの不備が原因で映像が途切れることもありましたが、初めて触れる言葉や文化に参加した子どもたちは興味津々の様子でした。

第3回海の環境学習会



8月に開催された神奈川県主催の栽培漁業教室に参加した金沢小学校の4年生が、施設見学や放流会の感想を発表してくれました。また、栽培漁業に関連した海の生きものクイズを行ったり、養殖魚のえさとなる「ワムシ」を顕微鏡で観察したりしながら、生きもの不思議をみんなで楽しく学びました。特に肉眼では見えないワムシの動きを顕微鏡で熱心に観察する子どもたちの姿が印象的でした。最後は、第2回学習会でプレゼントしたアマモンエコバッグに色を塗ってもらいました。

そのほかの活動



アマモ場再生活動として行っている様々なイベント時に、参加した子どもたちを対象にミニ学習会やスノーケリング教室(城ヶ島)などを行っています。また、毎年市民の皆さんに活動成果を報告している「横浜・海の森づくりフォーラム」では、金沢区内の小学校に日ごろの環境活動の成果などを発表してもらっています。さらに、海の生物や環境などをテーマとした出前授業を行ったり、総合的な学習の時間の運営に協力をしています。